

# モンテ残留



発行所  
山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12  
電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2009  
Yamagata Shimbun

2009年  
11月28日  
〈土曜日〉

速電  
報版子

購読申し込み  
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた  
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbi | eやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

## J1 柏が引き分け、決定



名古屋 山形 後半、山形のFW長谷川悠(右から3人目)が中盤でボールキープし、攻撃を仕掛ける = 愛知県・豊田スタジアム

サッカーJ1のモンテディオ山形は28日、愛知県の豊田スタジアムで名古屋と対戦、0-2(前半0-1)で敗れた。しかし、降格圏16位の柏が大宮と引き分けたため、最終節の横浜マリノス戦を残して山形のJ1残留が決まった。

### 名古屋戦は0-2

3月のリーグ開幕戦で磐田に6-2で大勝、これ以上ないスタートを切った。序盤戦は確実に勝ち点を奪い、J1でもしつかりと戦えることを証明。だが次第にチーム全体に疲労が蓄積し、けが人が相次ぐと白星から遠ざかった。第9節柏戦から8試合連続で勝利に見放され、第23節川崎戦からは初の4連敗。それでも就任2年目の小林伸二監督の下、イレブンはずから積み上げてきた戦術を信じて前を向き続けた。第27節千葉戦から始まった、残留を争う下位チーム同士の「直接対決4連戦」。この激闘を3勝1分けで乗り切つて残留に大きく前進した。前々節鹿島戦(0-2)、前節大宮戦(0-0)と残留へ足踏み状態が続いていた山形。「三度目の正直」を懸けた名古屋戦も前半11分に先制を許すなど苦しい展開となった。後半、ポランチに太田徹郎を投入してから攻撃の歯車がかみ合い始めたものの、同31分に自陣ゴール前でボールを奪われ痛恨の2点目を献上、敗北を喫した。監督、選手とも、ホームで迎える今季最終戦(12月5日)で勝利し自力残留を決めようと気持ちを切り替えたが、午後5時から行われた柏-大宮戦が引き分けとなり、山形に残留決定の朗報が届いた。